

今、日本で、世界で、起こっていること

1 イナメナス

大間 2

東北福祉大学 特任教授 有田 和正

1 アルジェリアでテロ事件発生

2013年1月16日早朝（現地時間）、アルジェリアのイナメナス（首都アルジェから1,000km以上の所、右の地図の×印あたり）という砂漠の中の町でテロ事件が発生した。アルジェリアは報道ビザの発行こそしているものの情報統制国家であり、正確な情報が伝わりにくい。情報が少しずつ伝わってくるにしたがって、日本人が10人、外国人が7人死亡した（いずれも天然ガスプラント建設のため駐在していた日本の日揮株式会社の関係者）とわかり、大騒ぎになった。



『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』 p.57

①ヨーロッパ・アフリカ

■アルジェリア	
首都 アルジェ	
人口 約3597万人(2010年)	
おもな宗教 イスラム教	

人質解放の呼びかけはわずか24時間でうち切れ、アルジェリア軍は武装勢力（自称アルカイダ系、32人）を攻撃、殺害した。アルジェリアのサイド情報相は、「電話で説得を試みたが、人質の解放を拒絶されたため軍事作戦に踏み切った」と話している。ところが後日、「人命第一に行動してほしい」と日本側の要望を伝えた、首相同士の電話会談よりも早い段階で、軍事作戦が決行されていたことがわかった。

その理由として、武装勢力がガス施設を爆発させる可能性があったことが考えられる。アルジェリアにとっては、ガス施設や石油施設は国の屋台骨であり、これを破壊されては大変なことになる。つまり、人命より経済を優先したといえよう。

加えて、アルジェリア軍は、民間会社とともに施設の警備にあたっていたという。軍が警備しているにもかかわらず、武装勢力の侵入を許してしまったという状況もあって、強い作戦に出なければならなくなったのかもしれない。

日揮のある社員は「40年以上もの間、アルジェリアに技術を伝えたいという思いで、リスクを承知でやってきた。それなのに」と、くやし涙にくれていた。

アフリカには、日本の企業がたくさん進出して、現地の技術向上や、生活向上の支援を行っている。しかし武装勢力は、人命を砂のごとくもてあそぶ。国家も人命より経済を優先するという考え方。これから、日本の企業はどうすればよいのか。

むずかしい局面に今、日本は立たされている。

2 マグロ一匹 1億5540万円

2013年1月5日、東京都中央区の築地市場の初セリで、222kgの生鮮マグロが、これまでにみられない史上最高値となる1億5540万円でせり落とされ、人々を驚かせた。

日本だけでなく、外国のメディアも驚き、いろんな国で報道された。

どうしてこんな高値になったのか。それは、日本の「すしざんまい」と、中国資本で香港に本社をもつ「板前寿司」という二つの寿司チェーン店が対決したためである。近年、この二者がせり合いを演じ、史上最高値を更新し続けている。

昨年はすしざんまいが5649万円でせり落とし、「宣伝効果は1億円以上」といわれた。そして、今年も1億5540万円。1kgあたりなんと70万円、1貫4〜5万円相当である。最高級の松阪牛でも、地元の品評会でついた過去最高値は、2002年の1頭5000万円（678kg）。この3倍にもあたる値段である。

1億円を超えないとインパクトに欠け、マスコミが話題にしないから、セリの予算に宣伝費をあてたのだろうといわれている。同日、セリに出されたほかの大間産クロマグロは、1kgあたり2万8000円〜4万3000円で、最高値のマグロの20分の1程度であった。

セリのあとの午後3時すぎ、すしざんまい本店につめかけた報道陣と見物客の前で、木村社長が史上最高値のマグロを解体した。せり落とした値から考えると大赤字だが、大トロなら398円など、通常の価格で提供した。最高値のマグロを1口でも味わおうと100人を超す行列ができた。大騒ぎしてもらった分、確かに宣伝にはなったのだろう。

ある食文化研究家は、「“最高値をつけた店”という箔が付く。宣伝費と考えれば安いのではないか。経済的に突出した東京だからこそこの現象だ」、別の専門家は、「これだけ高値がつくほど希少な資源なのだ」という認識が広がるのではないかと話している。クロマグロは乱獲により数が減少し、日本近海でも厳しく漁が規制されているのだ。

クロマグロは台湾近くで産卵し、餌になる魚などを追いかけて、日本列島に沿うように北上する。その過程で成長し、冬に青森や北海道で獲れるものが最高級とされている。有名なのは戸井（北海道）や大間（青森県）で、初セリ最高値の常連も大間のクロマグロだ。

1億5540万円となったマグロを釣り上げた大間の漁師（36歳）は、その父親も、12年前に初セリで最高値を更新した人物だそうである。マグロ1本の値段としては金額が大きすぎてぴんとこないが、「親子二代で最高値になれて、誇りに思う」と喜んでいるという。

